

11月26日(火)

ただ待て

聖書朗読 詩篇 33編

私たちのたましいは主を待ち望む。主は、われらの助け、われらの盾。まことに私たちの心は主を喜ぶ。私たちは、聖なる御名に信頼している。

詩篇 33：20～21

昔に戻ってその時の自分にアドバイスをしたいと思ったことはありますか？

30年前、若い牧師として葬儀に参列したことがあります。当時エミリー（妻だと思われる）と私は20代で、教会と自分たちの将来について懸念していました。それから30年経ち、ふと当時の22歳の不安を抱えた私たちのことを思い出したのです。

30年経った今、当時の自分たちに「大丈夫だよ。上手くいくよ。神様がちゃんと見守っていて下さるから。ただ待っていれば、分かるよ」と伝えたいのです。

今日の聖書朗読の詩篇の聖句から、私たちは神様が働いて下さること、自信を持って待つこと、希望を持つことができることが分かります。詩篇のメッセージは「全てのことは神の御手にあり、私たち自身がコントロール出来るわけではないので、希望を持って待ち、信じ、喜ぶことです」と伝えています。

神様の御心を自信と共に待つことは正しく、御心が私たちの心を変え、神様の介入が私たちの人生を変えるのです。待ち、信じ続けなさい。神が来られる日が来るのです。

讚美歌 298

祈り 神よ。私たちの未来はあなたに約束されたものであるにも関わらず、心配ばかりしていたことを悔やみます。私たちが希望を持ち、感謝と共に待てるように助けて下さい。

御子、イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

共同編集者 スティーブンス・レムリー

11月27日(水)

これは何？

聖書朗読 ルツ記 4：13～22

ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対する神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。 Iコリント 15：10

これが現実です。私はそれを先月百回聞いたでしょう。それは私たちの日常会話で常用され、私たちが好まないものや、どうしようもないことを指します。

「どうでもよい」と言っても状況は変わりません。しかし「御国が来て、御意志が行われる」「神が働いておられる」「誰があなたをエジプトから救い出したか？」などについてはどうでしょうか？ 私たちは何か思い通りにならないことがあっても、神の力があれば状況が変わることもある希望を持つべきです。

ルツも「私には関係ないわ」と言うことも出来たでしょう。モアブにそのまま滞在することもできたでしょう。しかし、彼女はそうはせず「神よ、あなたの御意志がどこへ私を導くか分かりませんが、御心に従います」という態度を選びました。自己中心的な態度を取らなかったルツに、神様は彼女が想像もしなかった恩恵を授けました。神様はルツへの計画をお持ちだったのです。そして、ルツは神様の愛に満たされ、それは永遠に続きました。

讚美歌 291

祈り 父よ。何度も私は「出来ない」と言いそうになります。あなたのお力を忘れてしまう未熟な信仰心の私をお許し下さい。どのような状況下にあろうともあなたと共にあれば大丈夫なことを覚えさせて下さい。

御子、イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

共同編集者 エミリー・Y・レムリー

11月28日(木)

神は私たちに感動を与えて下さる

聖書朗読 申命記 6：4～9

私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、起きるときも、これを唱えなさい。 申命記 6：6～7

いろいろと便利になった最近では、子どもや若者を感動させることは簡単ではありません。技術が発達した現在、子どもたちはインターネットで音楽を聞いたり、映画スターを見たりすることが出来ます。便利な一方、正確でない情報が手に入りやすいデメリットもあります。例えば、リアリティーTVショーと呼ばれるテレビ番組で放送される人々の生活は、現実の世界での生活を描写していると思ってしまうのです。ですので、子どもたちは生計を立てるために働く必要がないことや、不特定多数の相手と性的関係を持つことを「普通」だと思ってしまうのです。

このような今日であるからこそ、子どもたちに神様や、聖書が何を教えているのかを時間を割き教えることが重要です。神様や信仰についてきちんと話すべきです。機会があるたびに、神様の掟について子どもたちに話しましょう。

私たちは毎日、神様との関係や信仰について話す機会があります。朝食の時、雑用を行っている時、子どものサッカー教室への送迎の時、寝かしつけている時などです。私たちが子どもたちに感動を与えられなくても、神様は出来るのです。

讚美歌 187

祈り 父よ。あなたとあなたの教えについて子ども達に教えられるよう助けて下さい。子ども達があなたに従うようになるよう、お助け下さい。

御子、イエスキリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。
ベス・ロビンソン
テキサス州 ラボック

11月29日(金)

救いのための、私たちの神

聖書朗読 出エジプト記 2章

神は、私たちが暗やみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。 コロサイ 1：13

神が救ってくださる！ 神は二度、モーセを救われました。赤ちゃんのモーセと、逃亡者のモーセです。いろいろな出来事があったモーセの人生で、神は何度もモーセに呼びかけられ、また影響を与えられました。モーセはワニに食べられていたかも知れないし、身分の低い奴隷にさせられていたかも知れないし、エジプト人の恋人と面倒な関係にさせられていたかも知れません。また、パロに死刑にされていたかも知れないし、ミディアンで乾きにより死んでいたかも知れません。これらの事柄が起こらなかったのは、神が御心のままにモーセを救って下さったからです。モーセはが神がお使いになる素晴らしい奉仕者だからです。

全てのクリスチャンが神に救われたのではないのでしょうか？ あなたの辿った道は正しかったのでしょうか。こじれたり、障害やハードルがあったり、あなたに反対する人は居ませんでしたか？ 間違った道を選びそうになったことはありませんでしたか？ しかし、そうはなりません。『神は、私たちがくらやみの圧制から救い出して、愛する御子のご支配の中に移してくださいました。』(コロサイ 1：13)。あなたもある意味モーセと同じようにされているのです。なぜなら、あなたも御国のための奉仕者だからです。そして、あなたは奉仕者だけにとどまらず、神の子であり、神の約束の恩恵を受けることが出来るのです。

讚美歌 第二編 167

祈り 父なる神よ。あなたが私たちに救い出して下さり、大切なイエス様を与えて下さった慈悲深い愛に感謝します。私たちがもう暗闇の中に取り残されることなく、あなたの恩恵を楽しめることに感謝します。

御子、イエス・キリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。
ジャニス・グリーンリーフ
アラバマ州 ハンツビル

11月30日(土)

モーセの預言者

聖書朗読 出エジプト記 6:28~7:13

主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたをパロに対して神とし、あなたの兄アロンはあなたの預言者となる。」

出エジプト記 7:1

エジプト人は沢山の神を崇めていました。ですから、パロはモーセを神として受け入れることに全く抵抗はありませんでした。パロは預言者を雇っていました。そして、その預言者が神々のために話していました。しかしながら、パロはアロンのメッセージが好きではありませんでした。モーセとアロンはパロにイスラエル人を解放するよう伝えました。もし、パロがイスラエル人を解放したなら、パロが望む圧倒的な建設物は存在しなかったでしょう。建設作業員としてイスラエル人が必要だったので、彼らは解放されませんでした。

神はモーセにアロンが杖を投げるように命じ、実際にアロンが杖を投げたところ、それは蛇へと変わりました。パロが魔術師と同じことをするように命じました。魔術師たちはそうしましたが、アロンの蛇が、エジプト人の蛇を呑み込んでしまいました。それは、神の偉大な力を見せつけるためです。そのようなことがあったにも関わらず、パロは奴隷を解放しなかったため、災いが人々の身に起こりました。それぞれの災いは複数のエジプトの神々、それぞれを標的として起こりました。しかし、パロは神の偉大な力に気が付くことを拒んだのです。

私たちはいかに神が偉大であり、万能であるかに気が付くべきです。

讃美歌 267

祈り 父よ。私たちの日々の中であなたの偉大さを思い起こさせて下さい。あなたの方でエジプトから人々を救出され、約束の地へと導かれたことを称えます。信仰心を持ちあなたにお仕えできるように助けて下さい。

御子、イエスキリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

ナンシー・ファーガスン

テキサス州 アビリーン

12月1日(日)

神を探しなさい

聖書朗読 出エジプト記 14:21~31

主よ。神々のうち、だれがあなたのように、聖であって力強く、たたえられつつ恐れられ、奇しいわざを行うことができますでしょうか。 出エジプト記 15:11

真つ二つに割れた紅海を歩いた時、イスラエル人の子どもたちは真ん中に細い線が引いてあると思い、それを辿り、脇からの海水が溢れだして来ないか不安になりながら歩いたのではないかと想像していました。

今、大人になり、横幅は十分にあり、家族や知り合いと一緒に歩くことが出来たのではないかと？ 神が十分な高さまで止めて下さったなら、彼らは空を見ることも出来たのか？ 子どもたちが歩きながら、水の壁に棒で落書きしたり、水滴で涼んだりしたのか？ と思います。イスラエル人は自由への旅は、非現実的だったのでしょうか？ それとも、神はイスラエル人たちが互いに助け合うのに十分な空間を与え、御神の御心や。旅の概要を見えるようになさっていたのでしょうか？ 暗い水の中を歩き、最後に彼らは深い神の愛に気が付いたのではないのでしょうか？

人生における旅の中でも常に神を意識しましょう。神は私たちと共に居て下さるのです。

讃美歌 第二編 174

祈り 神よ。思い起こせばあなたが私たちの人生の中で働いて下さっていたことに気が付きます。あなたがいつも共におられることを私たちが常に覚えていられるよう助けて下さい。

御子、イエスキリストの御名を通してお祈り致します。アーメン。

レベッカ・タリー

テキサス州 ラボック